

6月1日の豊後水道の地震について（4月17日からの地震活動）

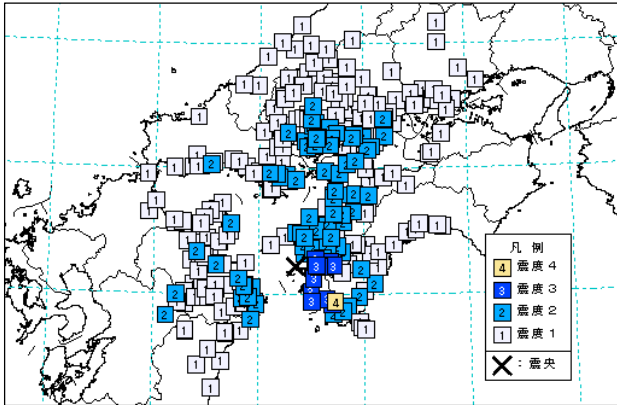


図1 観測点震度分布図（×は震央）

2024年6月1日04時02分、豊後水道の地震（深さ39km、M4.5）により、高知県宿毛市で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました（図1）。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

この地震の震源付近（図3の領域b）では、4月17日のM6.6の地震（最大震度6弱）の発生後、地震活動が活発となりました。その後、地震回数は減少してきているものの、地震活動は継続しています（図2・3・5）。4月17日23時から6月2日24時までに震度1以上を観測した地震は80回（震度6弱：1回、震度4：2回、震度3：4回、震度2：16回、震度1：57回）発生しました（図4）。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（図3の領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生しています。2022年1月22日には日向灘でM6.6の地震（最大震度5強）が発生し、負傷者13人、住家半壊2棟、一部破損599棟などの被害が生じました（被害は総務省消防庁による）。

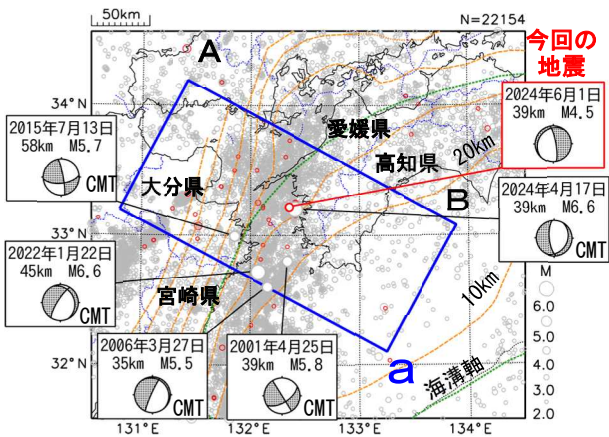


図2 震央分布図

（1997年10月1日～2024年6月2日、深さ0～100km、M≥2.0）

※2024年5月1日～6月2日の地震を赤色で表示

※緑色の破線は南海トラフ巨大地震の想定震源域

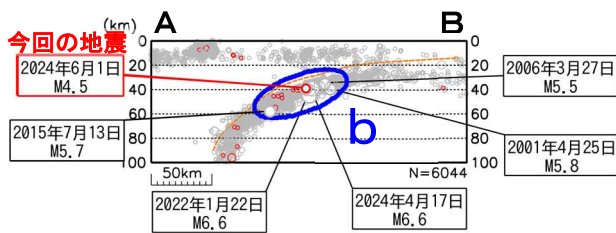


図3 領域a内の断面図（A-B投影）

図2及び図3の橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さ

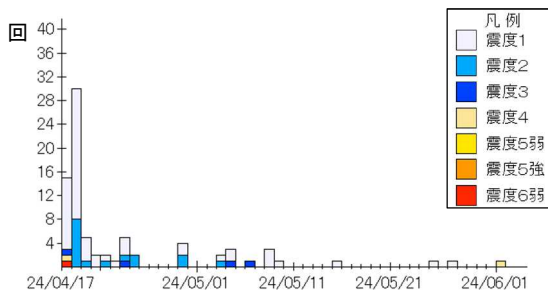


図4 震度1以上の日別地震回数グラフ

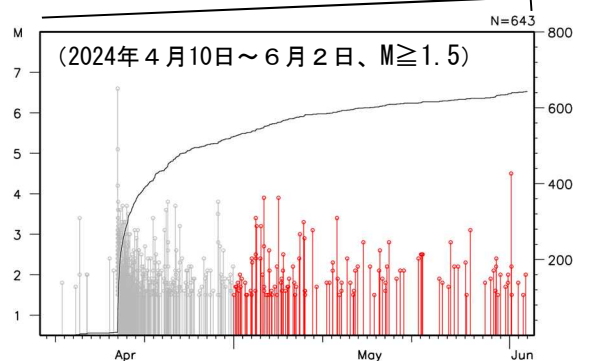
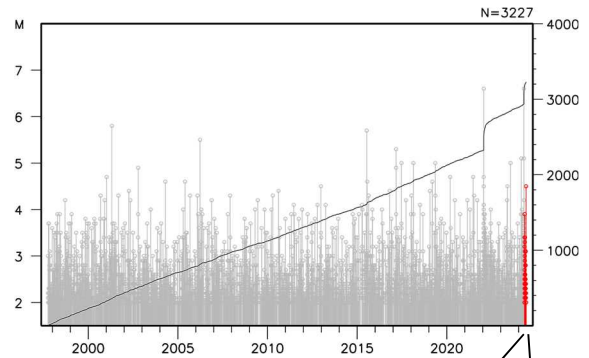


図5 領域b内のM-T図及び回数積算図

※本資料は2024年6月2日までの震源データを利用して作成しています。
 ※これらの震源データは暫定震源を含んでおり、再調査された後に修正されることがあります。